

薬だつ知識

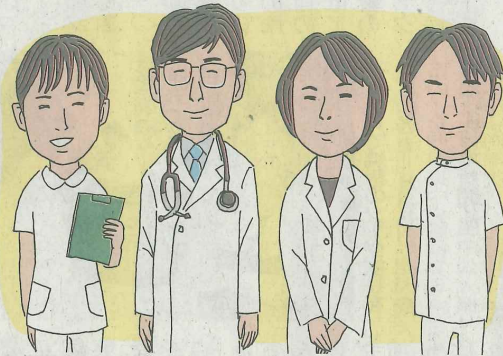
94

薬剤師の役割は、医薬品の専門家として患者の健康と安全を守ることです。特に医療現場での薬剤師の重要な使命の一つが医療安全の確保です。

医療安全とは、医療を受ける全ての人々が安全に医療を受けられるよう医療現場で事故やエラーを防止することを指します。薬剤師は医薬品に関する幅広い知識を活用し、薬物療法の適切性を判断し、不適切な薬剤の使用や副作用の発生を未然に防ぐ役割を果たしています。

薬剤師の医療安全への関わりには、調剤と医薬品の薬効、副作用の説明、

薬剤師と医療安全



指導等の服薬指導業務があります。処方された薬剤が最適であるかを確認し、副作用や相互作用のリスクを評価

不適切使用や副作用防ぐ

する重要な役割を担い、患者が安全に薬を使用できるよう努めています。

また保険薬局だけでなく病院で働く薬剤師は医療チームの一員として医師や看護師等と協力し、患者の情報を共有することで、適切な薬物治療が行われるようサポートしています。医師や看護師など多職種との連携を通じて、それぞれの専門性を持ち寄り、医療の質を高めることができます。

薬剤師が医療安全に貢献することの意義は、医療の質の向上と患者との信頼の構築にあります。安心して医療を受けられる環境をつくることは一人一人の健康を守り、地域全体の医療の質を高めることにつながります。

今後も、薬剤師は専門知識を生かしながら安全で安心な医療環境の実現に貢献できるよう取り組んでいきます。

県民の皆さまも薬剤師を身近な健康パートナーとして活用いただければと思います。（鹿児島県薬剤師会医療安全

委員会委員長・山下弘志）

令和7年9月2日（火）
94．薬剤師と医療安全